



# 久留米大学 商経同窓会々報

90<sup>th</sup> Anniversary 久留米大学  
地域と未来のかけ橋へ  
久留米大学は2018年に創立90周年を迎えます

NO.35 2018.10.1



## TOPICS

会長挨拶 .....	2
第一線インタビュー .....	6~9
支部だより .....	10~15
私の近況 .....	16~17
OB会 .....	17~18

## 「御井本館」

平成28年9月竣工

御井キャンパスに創立90周年記念事業の一環として、ラーニングcommons、ラウンジなどを備えた「御井本館」が完成し、新たな学びの環境が整いました。



# 躍進する我が母校

久留米大学商経同窓会  
会長 江頭 義人(昭和42年卒)

私事、同窓会会長を拝命いたし、早々に一年が過ぎ、反省することも多い一年でありました。2年目のスタートに当たり4月21日の「代議員会・定期総会」では代議員の皆様のご理解と協力によりスムーズに議事が進行・承認されて、新しいスタートを切ることが出来ました。改めて御礼申し上げます。

支部訪問等については、東京支部をはじめ、関西支部等26支部が存在しますが、初年度は隈無くすべての支部を訪問する予定でしたが、止むを得ない事情が重なり代理出席となった支部に対しては誠に申し訳なく思っております。支部会では大きい支部は大きいなりに、小さい支部は小さいなりに苦勞されていることを目の当たりにする事が出来ました。そして、役員さんの自己犠牲の上に成立している事の事実も併せて知るに至り、支部役員の方々に感謝・感謝の思いです。

学校法人「久留米大学」の大きなイベントであるところの90周年記念式典が4月28日六ツ門町の元井筒屋跡地に出来た久留米シティプラザ「ザ・グランドホール」に於いて、林芳正文科省大臣、国会・県議会・市議会議員・地元著名人・学校関係者ほか、私たち数名の役員を含め出席し、総数574名を数える盛大な式典が敢行されました。

我が母校「久留米大学ここにあり」と内外に主張・知らしめる事が出来たのではないかと思います。同窓会の一役員として感激致しました。更なる我が母校の発展して行くことを期待するばかりです。

私大・短大を運営する法人は全国に662法人があるそうですが、その中で相当数の法人は先行きが厳しい環境

にあるらしく、大学の運営がこの先益々厳しくなると言われている中、我が母校の存在を大いに発信することが出来る、大きく躍進することを期待したい。

また、10年後には大きな節目であるところの100周年が控えております。大学本部としては90周年記念行事よりも更に盛大な大掛かりな式典を予定されているものと想えば、同窓会として、また、同窓会会員として最大限の支援をしなければなりません。その時はもう私たち老輩が出る幕では無いことは重々わかっております。それらを鑑みれば2年目のスタートに当たり幹事役員の世代交代を最重要課題として推し進めて行くことを私の目標に挙げて行きたいと思っております。これからは若い方が同窓会をリードし、新しいアイデアや新しい考え方を取り入れた運営をして頂きたい。そうなることが同窓会員のための更には同窓会の発展につながるものと確信します。が、しかし、ご承知とは思いますが、現在の幹事役員の方々の協力と賛同がなければ実行することは不可能です。心積もりをよろしく願います。勿論、最大限の努力は惜しまない積もりです。

## 委員会構成

委員会	委員長	副委員長	委員		
総務委員会	姫野昭彦	矢野則行	大津秀明	荒木保徳	井上益規
財務委員会	弥永祐司	橋本良一	久保田一喜	白江 淳	山本弘幸
組織委員会	国武勝征	藤吉嘉明	原万一郎		
広報委員会	原口 彰	朝久岩生	富安 收	土谷昌敏	大坪 傑
規則委員会	木下一弥	太田一宏	筒井佐千生	原 堯	
名簿委員会	中橋 肇	大尾正博	高浪孝一	後藤昭裕	
役員等推薦委員会	江頭義人	武宮雅治	平川猛展	国武勝征	朝久岩生 大尾正博 久保田一喜
援助基金委員会	武宮雅治	姫野昭彦	弥永祐司	中橋 肇	木下一弥

## 商経同窓会役員氏名(卒業:年・学部・回次)

職名	氏名	卒業	支部	職名	氏名	卒業	支部
顧問	杉村 典正	昭34 商6	福岡	幹事	木下 一弥	昭51 商23	久留米
"	宮原 岩政	昭39 商11	鳥栖・三養基	"	筒井佐千生	昭51 商23	佐賀県
"	大木 武彦	昭42 商14	久留米	"	姫野 昭彦	昭51 商23	筑邦銀行
会長	江頭 義人	昭42 商14	久留米	"	矢野 則行	昭53 商25	日田
副会長	武宮 雅治	昭47 商19	久留米	"	大津 秀明	昭55 商27	久留米
"	平川 猛展	昭48 商20	福岡	"	井上 益規	昭58 商30	久留米市役所
幹事	藤吉 嘉明	昭33 商5	鳥栖・三養基	"	原 万一郎	昭60 商32	福岡
"	富安 收	昭36 商8	久留米	"	山本 弘幸	昭61 商33	学内
"	中橋 肇	昭37 商9	佐賀県	"	弥永 祐司	平元 商36	久留米
"	荒木 保徳	昭41 商13	福岡	"	後藤 昭裕	平10 経1	福岡県南
"	太田 一宏	昭41 商13	北九州	"	久保田一喜	平12 経3	久留米
"	国武 勝征	昭42 商14	久留米	"	白江 淳	平14 経5	久留米
"	高浪 孝一	昭42 商14	久留米	"	原 堯	平22 経13	学内
"	原口 彰	昭42 商14	久留米	"	大坪 傑	平25 経16	筑邦銀行
"	橋本 良一	昭44 商16	山口県	監事	江頭 照郷	昭33 商5	久留米
"	土谷 昌敏	昭45 商17	福岡	"	吉村 暢充	昭58 商30	久留米
"	大尾 正博	昭47 商19	佐賀県	議長	池田 喜次	昭36 商8	久留米
"	朝久 岩生	昭48 商20	福岡	副議長	坂本 昭夫	昭44 商16	久留米



# 商学部75周年に向けた 足元の取り組みについて



商学部長 伊藤 祐

同窓会の皆さま、日頃のご支援に心より御礼申し上げます。お陰様で、創立90周年記念式典・祝賀会とも盛大に執り行うことができました。商学部は2020年4月に創設70周年を迎えますが、2010年の60周年行事終了時点で、「次は75周年」との方針が示されており、70周年での大きな行事の実施予定は現在のところありません。当時、75周年を見据えた「新たな方向性」が打ち出されました。「入学者数を絞り、学生の質を向上させたいうえで、入学してきた学生をきめ細かく丹念に指導・教育することで教育の質を高める」というものでした。この方向性はしっかり定着しています。入試制度改革により、特に成績優秀な学生を一定数確保する仕組みも導入しました。入学後、各学年のゼミで教員一人ひとりが丁寧な教育をおこなっている結果、就職決定率は高水準で安定しています。

今後の発展に向けてのキーワードは「文医融合」です。商学部教員は全員ビジネス研究所の構成員ですが、本年4月1日から、同研究所の分室が、医学部基礎3号館に開設されました。すでに文医融合プロジェクトとして病院管理研修(セミナー)が開催されています。また、文部科学省私立大学研究ブランディング事業タイプA(社会展開型)に、本学の申請した「すこやかな『次代』と『人』を創る研究拠点大学へ～先端がん治療・研究による挑戦～」事業が選定されました。全学的な独自色を打ち出す取組みが評価対象となっています。商学部では、就職先として医療関係企業が一定の重要性を持っていることもあり、当事業を通じて、人・地域・企業・社会にどのように貢献できるか、今後とも可能性を探っていく所存です。

# 豪雨災害ボランティア



経済学部長 浅見 良露

昨年の7月5日朝倉市や日田市を中心とした大規模な豪雨災害が起きましたが、今年もまた7月6日前後に西日本全域にわたって、それよりもさらに大規模な豪雨災害が起きました。今回は久留米市においても東部を中心に浸水被害がありました。同窓生の皆様方にも被害に遭われた方がおられるかと思えます。心よりお見舞い申し上げます。

久留米大学においても昨年、今年と各学部や部局においてさまざまな形での対応やボランティア活動を行っております。経済学部においても、昨年7月の豪雨災害の後直ちに「災害支援委員会」を組織、教員・学生有志で、スクールバス等を利用してのボランティア活動に乗り出しました。また、ボランティアサークル「ゆめくる」などとの協働や久留米市のボランティアバスの活用によって、何度か災害ボランティア活動を行ってきました。昨年度後期には学生

自らボランティア活動を企画し、その成果を報告することを成績評価するという「アクティブ・プログラム」を開講しました。

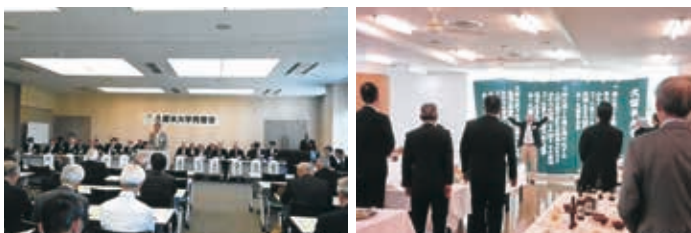
今年7月の西日本豪雨においては、地域連携センターなどが久留米市に協力して災害ボランティア活動を行っています。

昨年の豪雨災害においては、特に経済学部等においては、手さぐりでボランティア活動を行うという状態でしたが、今年度は地域連携センターを中心とした態勢づくりができたように思います。

災害ボランティア活動はその一例ですが、久留米大学の地域貢献力を試される一年だったかと思えます。

## 平成30年度

# 代議員会・ 定期総会を開催



平成30年度代議員会・定期総会は4月21日(土)午前11時より学生会館ミーティングルームで開催されました。出席者92名で開催し、池田議長より

第1号議案 平成29年度事業報告承認の件

第2号議案 平成29年度収支決算承認並びに監査報告の件

第3号議案 平成30年事業計画案承認の件

第4号議案 平成30年度予算案承認の件

の議案が進められ、いずれも可決承認されました。

### 会長挨拶(要旨)

こんにちは。本日は真夏のような天気になるということで準備段階より一汗かきました。しかしながら夜は冷え込むこともありますので、皆様も風邪など召しませんようご注意ください。

私が会長職に就き、1年経ちました。振り返りますと、実績として目立ったことは出来ておりませんが、一生懸命努力しております。それをお認め頂けたら、その甲斐もあり、今後の励みにもなります。任期まではこれまで同様、懸命に取り組みますことをここに約束いたします。

この御井キャンパスには新しく御井本館が建てられ、私の在学当時とは比べものにならないほど素晴らしい環境になりました。この立派な環境の中、今の学生は勉学に勤しみ、卒業後は社会貢献できる後輩が多く輩出されることを期待しております。本年度の大学全体の入学者は1,640名です。学生数はこの約4倍になりますので、大変学生数の多い大学であり、今後の活躍を大きく期待するものです。

旭町には創立90周年記念事業で基礎3号館(研究棟と動物実験センター)と病院北館(総合複合棟と放射線腫瘍センター)が建設され、久留米大学は全国に名を轟かすような大学になってきています。

また、昨年は医学部卒業の横倉義武先生が第68代世界医師会会長、アジア太平洋医師会連合会会長に就任され、世界へ羽ばたく同窓生をお祝いすべく、祝賀会に出席いたしました。このような要職に就く同窓生がいることは鼻高々に自慢したいことです。

同窓会の発展、久留米大学の発展のために尽力するとともに、皆様からのご協力もお願いいたします。

### 伊藤商学部長挨拶(要旨)

卒業生の皆様、お帰りなさいませ。いつも本学の活動にご支援・ご協力いただき大変感謝しております。お陰様で4月28日には創設90周年を迎えることができます。久留米シティプラザでの記念祝賀会は盛大なものになる予定ですが会場の都合もあり、ご招待できない方をたくさん出してしまうこと、大変申し訳なく思っております。

商学部の近況についてご報告いたします。入試は好調です。平成30年度は文系全体で大きな改革をいたしました。まずセンタープラス入試を導入しました。センター入試と本学入試で総合評価するという方法です。同時に地方入試と学内の入試を同日に実施する統一入試を2回実施し、併願のチャンスを大きく増やしました。この結果、全ての学部で大幅に受験者を増やすことができました。商学部につきましてはAO入試や推薦入試で全体の半分の入学者を確保しており、一方で一般入試の倍率が高くなっています。昨年の一般入試合格倍率は1.4倍でしたが、今年は2.46倍となり、難易度は高まりました。また、商学部独自の奨学金であるスカラシップ制

度を3年前に導入しました。特待生制度は成績優秀者の5名を対象とするものですが、スカラシップ制度では、様々な入試区分の合格者の上位数名の授業料を減免する制度です。両方の制度の対象になれば、授業料ゼロで卒業することも可能になっています。導入初年度は1名、2年目は2名、そして今年は5名の入学があり、優秀な学生が入学する傾向が定着してきました。今年のスカルシップでは静岡県や沖縄県からも入学者があり、久留米大学の名声がさらに広がることを期待しております。

研究活動では、文医融合がキーワードとなっています。この4月から、旭町に新しくできた基礎3号館2階でビジネス研究所旭町分室の運用が始まりました。1年間の試験的なものですが、今後の発展が期待されています。

就職状況も順調です。内定率96.2%、実質内定率89.4%で昨年からさらに改善しております。意外だったのは大学院等への進学者が今年は10名ありました。昨年は3名でした。学術研究にも興味を持つ学生が増えてきたことは喜ばしいことです。

今後について、いくつか厳しい見通しを申し上げなければなりません。2018年問題、18歳人口の減少というのは、これから加速度的に影響が増えてまいります。これに伴い、文科省から大学入学者の定員管理への圧力が強くなってきました。以前は定員の1.3倍の入学者が認められていたところ、今年は1.2倍を超えてはならぬという厳しい指導のもと入学者数を減らしました。その分、学納金収入が減らされ、いわば、政策的に売上が強制的に減らされるという状況にあります。今後、さらに定員管理は厳しくなると見込まれることから、最終的には定員の1倍の入学者で収支が合うよう、費用削減が求められることとなります。実際に、本年度から研究費の再配分が行われています。戦略的に重要な研究には重点配分される一方、多くの教員の個人研究費は実質的に削減されました。学納金も平成31年度から値上げが予定されています。困窮する家計が少なくない中、受験生・保護者に大きな負担を強いることとなります。学納金の値上げをしても収支見直しは厳しく、さらなるコスト削減が求められています。関連して同窓会費についてですが、これは学友会費、商学会費・経済学会費などとともに委託徴収金として学生・保護者にご負担いただいています。合計で5万7千円ですが、この金額は近隣の大学に比べて著しく高い水準になっています。他で最も高い西南学院大学で3万2千円、他の大学でも概ね2万円台に抑えられており、その中で卒業アルバムの積立まで行われています。本学ではその積立はありません。昨今では名簿を配布することができないため、卒業後に同級生全員の顔写真、名前が思い出せるのは卒業アルバムだけです。卒業生の結束を強めるためにも、アルバム購入代金を積立で、全員がアルバムを入手できるよう、働きかけていきたいと考えています。学友会に対してもここ数年、学生部が支出の見直しを強く指導してまいりました。こうした背景がご



ございますので、引き続き同窓会の収支改善にご協力いただければ幸いです。

この1年、学部長として各支部会をご訪問させていただき、その節は大変お世話になりました。一方、学部長交際費が不十分で、以前は経済学部長と2人でお訪ねしていたところ、最近では交互に1人だけ行くという形をとらせていただいております。それでも交際費が不足がちで、今後、予算不足で学部長が参加できない支部も出てくるのではと心配しております。支部活動について、大学として期待しお願いさせていただくことは、学生の就職支援、入学者確保、そして寄付金獲得です。また、現役社会人の活動プラットフォームとしても期待しております。支部活動の充実度を考慮して訪問先に優先度をつけなければならない可能性も出てくるのではないかと感じています。

また、大学全体で地元企業への就職促進を政策課題としており、大学の使命の一つとしています。卒業生の皆様で、近隣で経営者としてご活躍されている方々、役職者として活躍しているお知り合いの方がいらっしゃったら、就職・キャリア支援課に情報をいただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

大学として卒業生に対するサービスが不足しているのではないかと感じております。たとえば、学生の在学時のメールアカウントは、卒業と同時に使えなくなります。これを継続的に使えないか、事務部門と相談し、改善に努めていきたいと思ひます。

長くなりましたが、以上を持ちまして、挨拶とさせていただきます。

#### 浅見経済学部長挨拶(要旨)

経済学部長、浅見でございます。今期で2期目の2年目、通算4年目となりました。

本年も皆様方にこの場でお会いできましたこと、大変喜ばしく思ひます。同窓会の皆様方には、日頃から大変お世話になり、ありがとうございます。

さて、久留米大学においては、地域に向けた活動や、地域に出るの学習活動を積極的に行っております。「久留米・ちくご体験演習」の実施や「久留米大学酒」の開発などがあります。さらに文系各学部においてもさまざまな活動が見られます。

経済学部においても、以前からさまざまな活動を行っております。特に、筑後川流域圏における地域活動への参画は、すでに30

年以上前、商学部経済学科の時代から、筑後川流域圏の総合研究として、さらに経済学部開設後も、筑後川流域連携倶楽部やその関連活動への参画などを行っております。

最近においては、「筑後川ブランドプロジェクト」という、筑後川流域圏のシンボルとなるような商品の選定とそれらを通じての筑後川流域圏の情報発信や、「日吉村」という、文化活動を通じての久留米市中心街の地域づくり実験などが行われています。

また、昨年7月の朝倉地域を中心とした豪雨災害においては、災害支援委員会を結成し、ボランティアサークルなどとの協働で、ボランティア活動に取り組みました。今年度も学生による自主活動をすすめ、それを評価するという仕組みを作っております。

このような大学を通じての地域とのつながりは、今後ますます重要なものとなると考えられており、大学においては、「地域連携センター」が設置されており、今年度さらにその機能を強化しております。学部としても、教員や学生によるこれらの活動をサポート、さらには推進しております。

毎年行っており、大変お世話になっている社会経済国際シンポジウムにつきましては、昨年度は久留米大学で、今年度は9月15日に中国、成都市近くで行われます。またよろしくお願ひいたします。

さて、今年度の入試状況ですが、今年度は、295名の入学者を迎えました。昨年度、私学助成が受けられる上限値を上回ってしまいましたが、今年度は、限度内に収まりました。入試方式の変更もありません。志願者数は昨年度を上回りましたが、来年度から18歳人口の減少がはじまり、予断を許さない状況にあります。

一方進路内定状況は昨年度も一昨年度と同様好調で、3月30日現在で就職希望者に対する内定率は97%、進学者を除く卒業生に対する実質内定率は89%になりました。今年も好景気が続いておりますが、やはり、同窓会の皆様方のご活躍の賜物と考えております。

これからも、大学においては、志願者数の確保等、さまざまな課題があり、志願者確保のためのいろいろな取り組みを行おうとしておりますが、その中で、久留米大学及び同窓会がさらに発展し続けることを願っております。同窓会の皆様方には、是非良き御助言をお願いしたいと思ひます。

気候の変化が大きい今日この頃ですが、皆様方にはくれぐれもご体調に気をつけて、いつまでもお元気で過ごして下さいようお願いして、挨拶とさせていただきます。本日はどうもありがとうございます。

### 商経同窓会平成29年度決算・平成30年度予算

(単位:円)

借 方		30年度予算	29年度決算
款	項		
事業費		9,801,000	14,603,990
	寄付	0	5,000,000
	学納金援助基金	0	0
	旅費	2,000,000	1,888,362
	奨学費	96,000	0
	会議費	900,000	1,118,488
	渉外費	100,000	173,000
	支部対策費	1,700,000	1,252,350
	印刷費	400,000	496,491
	賃借料	0	0
	会報費	3,600,000	3,222,299
	補助費	1,000,000	1,448,000
	会費	5,000	5,000
事務費		4,010,000	3,675,081
	職員人件費	2,900,000	2,831,087
	社会保険料	490,000	394,582
	通信運搬費	180,000	160,055
	消耗品費	60,000	46,203
	修繕費	30,000	0
	雑費	200,000	205,432
	備品費	100,000	0
	支払手数料	50,000	37,722
積立金繰入		6,200,000	6,200,000
	基本金支出	200,000	200,000
	事業積立金支出	6,000,000	6,000,000
	学納金援助基金支出	0	0
予備費		1,655,265	0
小計		21,666,265	24,479,071
次年度繰越金		0	3,346,265
合計		21,666,265	27,825,336

貸 方		30年度予算	29年度決算
款	項		
会費収入		18,270,000	20,076,000
	入会金	17,670,000	19,350,000
	会費	150,000	171,000
	終身会費	450,000	555,000
利息収入		40,000	35,921
	預金利息	40,000	35,921
雑費収入		10,000	10,000
	雑収入	10,000	10,000
事業積立金取崩		0	5,000,000
	事業積立金戻入	0	5,000,000
小計		18,320,000	25,121,921
前年度繰越金		3,346,265	2,703,415
合計		21,666,265	27,825,336

#### 平成31年 代議員会・定期総会

お知らせ

- 日時 平成31年4月20日(土) 午前11時
- 会場 久留米大学御井学舎  
学生会館ミーティングルーム

久留米大学商経同窓会総務委員会  
〒839-8502 久留米市御井町1635番地  
syoukei@ktarn.or.jp  
TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846

※変更が生じた場合はホームページでお知らせします。

## 第一線インタビュー (54)

## 品質は財産 製品は真心

『Virtuality to reality (仮想を現実)』を実現

杉プラスチック工業株式会社  
代表取締役社長 本村 和也  
(平成3年商学部38回卒)

## 大学時代

アルバイトに明け暮れた学生時代でした。本屋・靴屋・スーパーのバックヤード・寿司屋、色々な方(先輩・仲間)と出会い、色々な経験を積む事ができた有意義な時間でした。振り返れば、このアルバイトの時間が人とのコミュニケーション能力を磨くことができたのではないかと感じています。

ゼミは米永先生を受講し、PFドラッカーの経営学を学びました。



## 卒業後～社会人へ

私が大学を卒業する頃はバブルの絶頂期で、就職活動時は数社より内定を頂いたことを覚えています。就職先は東京本社のシステム会社で、オフィスコンピューターの営業としての採用でした。その会社では入社後約半年間研修があったのですが、その間、社会人としてのマナーから始まり、コンピューターの仕組み、企業の業務内容、会計に関する知識、売上、仕入、在庫に関する基幹業務系資料の見方、営業トークのロールプレイング、投資対効果について等、多くのことを学びました。

研修終了後、九州支社配属となり営業活動するようになるのですが、新規営業活動は、挫折の連続で、半年間は何も販売することができませんでした。入社からすれば1年間売上もなく給料は会社から頂き、勉強までさせて頂いたのです。今から考えれば感謝しかありません。2年目の4月に正式配属となり、当時の上

司と一緒に初受注した時の感動は今でも覚えています。



4年半システム会社へ勤務した後、叔父が経営していた杉プラスチック工業株式会社へ入社しました。ここでも3ヶ月程度、工場内でプラスチック容器・キャップ作り、出荷業務等を学んだ後、営業活動を行うことになりました。数百万円～数千万円のシステムを販売していた自負もあり、数十円のペットボトルの販売はすぐにできるであろうと考えておりましたが、そんなに容易くはありませんでした。基本に戻り、まずは信頼関係作りから始めました。

中小企業の為、営業だけではなく、時にはトラックでの配達も行いました。また、社内業務システムを見直し管理資料の作成、プラスチック原料ダンボール等の購買業務も担当しました。

## 今後の展開について

弊社は昭和5年杉健蔵が(杉健蔵商店として)肥料販売業を創業しました。この業務を継続し、時代の流れを読み、世の中の変化に対応しながら、昭和44年、現会長の杉正がプラスチック容器の製造・販売を開始しました。おかげさまで当社は本年4月に創業50周年を迎えることができました。そのような歴史がある会社で、私は2016年9月代表取締役社長に就任いたしました。

当社は食品関連製品(ミネラルウォーター・お茶・スポーツドリンク・醤油・ソース・ポン酢・酢・焼肉のタレ・ドレッシング・みりん・海苔等)やトイレタリー製品のプラスチック容器(主にペットボトル)・キャップの設計・製造・販売を行っております。多品種少量の生産・販売のニーズに対応すべく、大小の設備機器を有しております。



す。また、名刺にも記載している『Virtuality to reality (仮想を現実)』を実現する為、3DCAD・3Dプリンターを導入し、お客様が要望される(考えられている)ボトル・キャップのデザインを(形)として提案できるシステムも設備しております。

品質は財産・製品は真心の方針に基づき、品質の向上、取引先の顧客満足度向上、社内ルールの統一化を目的に、本社・第一工場にて2016年6月ISO9001:2015を取得しました。2018年6月食品衛生法の改訂<sup>※1</sup>があり、2年後を目処に食品製造会社はHACCP<sup>※2</sup>の取得が必要となってきます。食品関連業界における品質の向上は勿論、食品包装資材製造会社の工場・倉庫における衛生環境の強化も必要となってきます。ISO22000もしくはFSSC22000<sup>※3</sup>の取得も必要となってくると思われます。併せて、コスト競争の激化にも対応していかなければなりません。

今後日本の人口は減少し、経済はますます厳しくなっていくと思われます。今後も会社や全従業員のレベルアップを図ることを目標に、お客様に安心・安全なボトル・キャップをお届けできるよう全社一丸となり、日々誠実に努力を積重ねて行く所存です。

※1 ISO9001:2015 品質マネジメントシステム

※2 HACCP 食品安全のガイドライン

※3 ISO22000/FSSC22000 食品安全の国際規格



本村氏 広報委員長  
原口

#### ■経営方針・社是

会社の信用を重んじ、顧客に満足される製品を供給することによって広く社会に貢献する。英知を育て、技術の革新をはかり常に経営の前進に努める。和と協調に努め会社の総力を結集する。

#### ■会社概要

杉プラスチック工業株式会社

本社・第一工場：福岡県三潁郡大木町上牟田口748番地1号

第二工場：福岡県三潁郡大木町上牟田口725番地1号

第三工場：福岡県大川市下木佐木35番地4号

物流センター：福岡県三潁郡大木町上牟田口313番地

設立：昭和44年4月30日

資本金：30,000千円

事業内容：プラスチック容器・キャップ 設計・製造・販売

#### ■後輩へ一言

勉強・遊び・アルバイト等、多くの人と出会い、苦しいことも楽しいことも色々な経験をしてほしい。その経験が社会に出てきっと役に立つことがあると思います。

## 移動幹事会を開催



8月24日(金)移動幹事会を開催しました。伊藤商学部長にもご参加いただき、アサヒシューズ久留米工場見学の後、ブリヂストンクラブで幹事会を行いました。靴の製造は手作業の部分も多く、手間のかかる工程です。「快歩主義」というブランドで福岡県デザイン協議会(福岡県主催)の大賞を受賞し、今尚、爆発的に商品が売れていることから、地元企業にはこれからも頑張っていたきたいものです。

## 第一線インタビュー (55)

# 上質を極める大人の バリ島旅行

知識豊富なスタッフがきめ細やかな対応で  
お客様の希望を叶える旅をご案内いたします。



株式会社スイートクラス  
代表取締役 諸藤 優子  
(平成10年経済学部1回卒)

## 大学時代

自宅から車で1時間程ドライブのような感覚で楽しく通学していました。大学生活は勉強より友達の関わりがとて楽しかったです。入学して間もなく気の合う仲間と昼休みや放課後に毎日ラウンジで集まるようになりました。20人弱のメンバーです。誰が名付けたのか、いつからかそのメンバーは「金魚」という名前になりました。少しでも時間があればラウンジにみんな集まり、よくそんなに話すことがあるなと思うぐらい毎日話をして、たくさんの時間を金魚の仲間と過ごしました。金魚はサークルのようなものでした。飲み会、キャンプ、旅行、海水浴、お泊り、試験前の勉強会などみんなで計画して、大学生活エンジョイしました。嬉しい時も、悲しい時も、泣いたり、笑ったりいつも金魚の仲間と一緒にでした。このメンバーがいたから私の大学生活は本当に楽しく充実した4年間だったと思います。卒業後は県外に就職する人も多く全員集まることは難しいですが、数年に1回は「金魚の集い」を開催しています。いつもお酒も入り、やはり大学時代の話で大盛り上がりです。20年経っても変わらない友情これからも大切にしていきたいです。

大学時代の勉強はというと特に経済学が学びたかったわけでもなく、他にこの勉強がしたいというのありませんでした。試験の前には満遍なく短期集中型で勉強しました。自分では特に成績がいいとは思っていなかったのですが、3年生の頃、成績優秀者で表彰状を頂きました。自分自身が一番驚きましたが、今では、大学時代の大切な思い出です。

就職についてはあまり深く考えていなかったのですが、小さい頃から両親に温泉やキャンプなどの小旅行へよく連れてってもらっていたので、旅行にはずっと興味がありました。英語は得意ではなかったのですが海外旅行にも憧れていました。大学3年生の頃就職について真面目に考えるようになり、何か資格を取得したいと思い、取り敢えず興味があった旅行関係の国家資格である「国内旅行業務取扱管理者(当時は国内旅行業務取扱主任者という)」の資格を取得しました。旅行が好きなのと旅行の知識とは別物ですので、試験勉強は半年ぐらい毎日何時間もしました。その甲斐あって一発合格しました。資格というのは一生ものですよ

で勉強は大変でしたが試験は受けて良かったと思います。

## 卒業後&入社のきっかけ

旅行業界に就職を希望していましたが、私たちの就職は大変困難な時期でもあり希望通りの就職ができるというのはまれなケースだったと思います。そして私の場合は運がよくニチメン九州株式会社という総合商社に正社員で入社することができました。私は食糧課に配属となり家畜のエサの輸入に関する貿易実務をしました。同じ課で営業をしていた上司はとても厳しい人でしたが、厳しさの中に優しさもあり色々なことを教わりました。仕事は忙しかったですが楽しかったです。この会社で働いている間に色々なところへ旅行しました。そして、その旅行先の一つとして選んだバリ島で私はバリ島の魅力に取りつかれました。どうしてもまた何度もバリ島へ行きたくなり3連休を利用して、2泊4日で渡航し帰国したその日そのまま会社へ出勤するような弾丸でもバリ島へ行くようになりました。

3年ほど勤務しましたが、旅行業界で働きたいということもあり同社を退職しました。正社員採用だけでなく、契約社員も含めて旅行会社を数社受けましたが全て不採用でした。このころも就職難はまだ続いていました。旅行業界はあきらめ、派遣登録をして派遣社員として色々な会社で一般事務の仕事をしました。様々な業種で働くことができたので今となってはいい経験だったと思います。私はラッキーだったのか人間関係が悪い会社は一つもなく、派遣社員でも分け隔てなく接してもらえました。このころの経験が今現在人を雇う側の立場となってからも役に立っているかと思っています。

派遣社員をしながらですが、弟と何かビジネスをしようかという話が進みました。私は最初から旅行会社しか興味がなかったため「じゃ旅行会社にしようか」という感じで、勢いで決めたように思います。旅行会社をするには旅行業の登録が必要です。旅行業の登録は複雑ですが、最低条件として旅行業務取扱管理者がいること、国または県に保証金を納めることです(国か県のどちらに納めるかは旅行業の種類によって異なる)。当時は国家資格の旅行業務取扱管理者は「国内」と「総合」があり国内の資格しかもっていなけれ



ば国内の旅行しか取り扱うことができません。総合の資格を持っていれば海外の旅行も取り扱うことができます。私は大学の時に取得した国内旅行業務取扱管理者の資格しかありませんでしたので、大好きなバリ島の旅行を取り扱うには新たに総合旅行業務取扱管理者の資格を取得する必要があります。必要に迫られてと言えばそうなるかもしれませんが、それから私の猛勉強が始まりました。1年に1回しかない試験ですので、一度失敗するとまた1年間勉強しなければいけません。試験まで半年ほどしかありませんでしたので、周りが遊んでいても、人が寝ている時間でも夜中までも毎日必死で勉強しました。そして一発合格できました。それにより海外旅行も取り扱える旅行会社起業に向けて準備を始めました。

### 事業の変遷と現状

(株)アールコアとして旅行業の登録をいたしました。アールコアでは旅行業と物流業も行いました。事業を始めた頃は、最初から収益をあげるのは難しく、物流業のほうがうまくいっていたため、なんとか会社として成り立っていたと思います。最初は少しでも多くを集客するため、ハワイ、アジア全域、南太平洋等々多くのエリアを取り扱っていましたが、弊社のような小さな会社が広く浅く多くのエリアを販売したとしても他社に勝つ要素を何一つもっていません。お客様の立場で考えると弊社で予約するメリットが何一つないわけです。

そこで、他社と差別化するためにエリアを絞ってそのエリアに特化しお客様ニーズに応えるためオーダーメイド旅行を売りにすることにしました。そのエリアに詳しいスタッフが知識を前面に出していき、価格ではなく、対応、サービスという“人”“アナログ”の部分で勝負することにしました。私はバリ島に関する知識では誰にも負けないというぐらいの気持ちがありましたし、それによってお客様の希望にあったプランをご案内して、結果的に充実したご満足頂ける旅行を提供できることが嬉しかったです。

大手旅行会社ではできない、きめ細やかな対応を行いました。それからは少しずつリピーターも増え、口コミもあり問い合わせも成約も増えていきました。

(株)アールコアで5年ほど営業した後、物流業と旅行業をわけることし現在の(株)スイートクラスを設立いたしました。スイートクラスはSUITEとSWEETをかけた社名です。SUITEはスイートルームなどでも使われる特別室のような高級なイメージです。SWEETは甘いという意味ですがハネムナーのイメージです。(株)スイートクラスは少し贅沢なバリ島オーダーメイド旅行を販売することで他社との差別化をしました。

(株)スイートクラスを設立して今年で8年目です。8年の間苦労もありましたが、お客様との関わりや大好きなバリ島に携われていることなど楽しいこともたくさんあります。お客

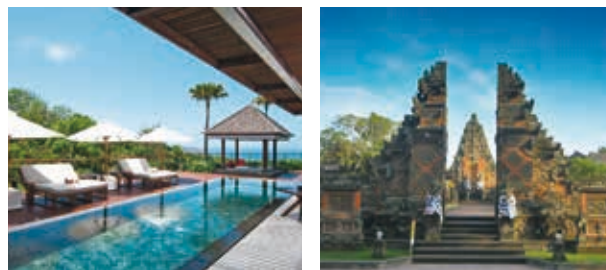
様が帰国された後に「楽しかった」、「また行きたい」とおっしゃって下さるのがこの仕事のやりがいです。

### 今後の展開

バリ島専門旅行会社という位置づけはそのままですが、国内(地元)でのバスツアーやイベントなどできたらと思っております。

以前、福岡市と糸島をまわる婚活バスツアーを行いました。私がバスに添乗しました。いつもメールでお客様とのやりとりが完結してご帰国されるまで電話で話すことすらない場合がほとんどです。しかしバスツアーを行ったときはお客様と接することができて改めてお客様と対面で業務を行うことの大切さを実感しました。

この地で長く事業を行っていく上で地元で密着した形態も今後は考えていきたいと思っております。



#### ■会社概要

株式会社スイートクラス (SUITE CLASS CORPORATION)  
 本社：〒818-0052 福岡県筑紫野市武蔵3丁目2番18号  
 旅行業登録営業所：  
 〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2丁目2番5号  
 Le Blanc303  
 TEL.092-406-3270  
 代表者：代表取締役 諸藤優子

旅行業登録番号 福岡県登録旅行業第3-737号  
 社団法人 日本旅行業協会 協力会員  
 総合旅行業務取扱管理者 諸藤優子

#### ■沿革

平成19年2月  
 株式会社 アールコア 福岡県知事登録旅行業3-659号取得  
 平成22年10月  
 株式会社 アールコアを分社化し株式会社スイートクラスを設立  
 平成22年11月  
 (株)スイートクラス 福岡県知事登録旅行業第3-737号取得

#### ■後輩へ一言

大学生の時だからこそできることはたくさんあります。遊びながら学ぶことができる時期は今だけかもしれません。色々な経験をして五感を刺激され新しい発見や出会いをたくさん見つけてください。社会人になって人間関係や仕事に柔軟に対応できるのも何よりも過去の経験からだと思っております。今までの人生で経験したことがない新たなことにチャレンジしてみて自分の経験を増やして磨いてみてください。進取果敢です。将来の希望や目的があればモチベーションもあがると思っております。

インタビュー：朝久広報副委員長、土谷広報委員

# 都城支部会だより

都城支部

都城支部  
吉原 昭郎  
(昭和50年卒)



平成30年1月20日(土) メインホテルにて

平成30年1月20日(土)、市内のメインホテルにおいて、第44回都城支部総会が開催されました。新年早々の大変お忙しい中、また遠路はるばる本部より平川副会長、国武組織委員長、大学より浅見経済学部長、またとなりの宮崎支部から二宮支部長、丸田幹事を迎えての総会となりました。松元支部長の挨拶に続き、議事の会計報告等があり、承認され懇親会へと進みました。本部挨拶は都合で欠席の江頭会長に代わり平川猛展副会長より大学創立90周年記念事業募金への協力要請等本部の活動報告があり、来賓あいさつでは浅見良露経済学部長から御井本館の第2期棟が完成し10階建ての快適な環境であること、しかし懐かしい300号館、200号館が解体され寂しい思いがあること等話がありました。続いて国武勝征組織委員長のご発声による乾杯の音頭で和やかに始まりました。

昨年までの地元焼酎などによる利き酒会を山元

宏一幹事の発案進行による、なんこ大会へと変更し地元とその他地域の二つに分けて実施しました。第一回大会の結果は地元組の優勝は小生吉原がその他地域の優勝は浅見先生に決定し、総合決勝戦は行わず表彰式では賞状はなく、副賞として地元霧島酒造の黒霧が贈られました。その後、出席者全員で記念の集合写真を撮り、校歌斉唱の後宮崎支部の二宮支部長から一本締めの発声を受け、和気藹々のなか無事終了お開きとなりましたが、その後もまた全員で二次会に繰り出すこととなりました。

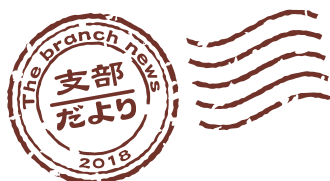
先生方や本部役員の方々とうっくり膝を交えて、いろいろな話ができたと有難くお礼を申し上げます。来年も1月末日ごろに開催予定でありますので詳しくは下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

問合せ：支部長 松元敏行(昭和60年卒)090-1872-3264

# 久留米大学同窓会 山口県支部総会

山口県支部

山口県支部長  
橋本 良一  
(昭和44年卒)



平成30年1月27日(土) シーモールパレスにて

平成30年1月27日(土)大学より伊藤商学部長、同窓会から江頭会長、国武組織委員長、平川福岡支部長、崎山北九州支部長、石田広島支部長の出席を頂き、商学部22名、経済学部7名、法学部3名、計32名にて開催いたしました。

事業報告、事業計画の承認後、江頭同窓会会長より自己紹介、大学と同窓会の近況報告があり引き続き、伊藤商学部長の乾杯で懇親会に移り参加

者全員の自己紹介、学生時代の思い出などで盛大に盛り上がり親交を深めました。校歌斉唱、続いて国武組織委員長より自己紹介と当大学医学部同窓生(1969年3月卒業)である日本医師会及び世界医師会会長、横倉義武氏のプロフィールを紹介後、一本締めの御発声を頂き集合写真を撮り次回も元気での再会を誓い散会となりました。



北九州支部

# 支部再発足8年、 学部を超えて同窓会を

北九州支部長  
崎山 和夫  
(昭和57年卒)



平成30年2月24日(土) リーガロイヤルホテル小倉にて

平成30年2月24日(土)北九州副支部長の経済学部卒植村さんの職場リーガロイヤルホテル小倉において、大学から浅見経済学部長、本部より江頭会長、国武組織委員長、他に平川福岡支部長、橋本山口県支部長、石田広島支部長、二宮宮崎支部長にご出席いただき、総勢35名で支部総会を開催いたしました。

昨年、伊藤支部長より、バトンを引き継ぎ、夏の納涼会、役員会、各支部との交流を先輩方のご指導の下、活動してまいりました。

今回、副支部長に法学部、経済学部の卒業生に大任を受けていただき、「学部を超えて同窓会を」と活

動していきます。

毎回1期生卒業の柏木先輩に乾杯の音頭をお願いしてすすめております。お元気な先輩方と、20代の卒業生と入り混じり、同窓の親交を深めております。

現役の世代の方も多く、それぞれの仕事に、同窓生として役に立てばと思っております。

これから、再発足10年に向けて、支部役員同窓生が一つにまとまり活躍していける場になればと思います。

会費納入率も7%台を10%台へと挙げていく活動もあわせて行いたいと思います。

# 佐賀県支部総会

佐賀県支部

佐賀県支部長  
大尾 正博  
(昭和47年卒)



平成30年3月3日(土) グランデはがくれにて

平成30年3月3日10時30分から佐賀県支部総会を「グランデはがくれ」で開催。薬師寺名誉学長、浅見経済学部長、江頭同窓会会長、国武組織委員長、平川福岡支部長、法・文学部同窓会役員を含め35名の出席のもと開催致しました。特に今回、初めての参加者が5名ほどあり、総会出席者増や終身会員増への取り組み、県内各地域での組織づくり等の課題、決算報告、監査報告、ホームページの利用方法についての審議を行った。

引き続き、薬師寺名誉学長様より「久留米大学90

年の歩み・文系学部誕生の秘話」をテーマに講演をしていただき、知らなかった大学誕生の秘話を皆さん真剣に聞かれていた。午後より記念写真を取り、懇親会へと移った。円卓を囲んでの料理に舌づつみを打ちながら、懐かしい学生時代の思い出話に花を咲かせながら、親睦を深められていました。

最後は「校歌斉唱」「万歳三唱」へと続き、来年3月9日に再会を誓い合って盛会のうちに散会することができました。

鳥栖・三養基支部

# 祝 設立10周年 祝賀会開催へ向かって

鳥栖・三養基支部長  
藤吉 嘉明  
(昭和33年卒)



平成30年3月4日(日) 光林飯店にて

去る平成30年3月4日に鳥栖・三養基支部総会を開催する。

商学部伊藤学部長より御挨拶主旨は、「優秀な先輩方々が同窓会支部でご活躍中です。目指しているのは在学生の県人会、地域部会と同窓会の各支部が協力し合い環境を造る。」とCommentがありました。

議長・田本琢磨氏(12回生)は資料29年度、30年度の決算報告と予算については長家秀典氏(22

回生)が議事進行して承認を得ました。

当支部顧問・宇佐良則氏(1回生)ご尽力で(平成21年12月5日)支部設立承認を得る。

依って、次回の支部総会(平成31年3月10日)は支部設立10周年を迎える年に当り役員・会員・一同で祝賀会開催を挙げる事で頑張りたい所存です。

広島県支部

# 広島支部総会の 報告

広島支部長  
石田 卓生  
(昭和45年卒)



平成30年5月26日(土) オリエンタルホテル広島にて

5月26日(土)広島市の平和大通りを臨む「オリエンタルホテル広島」を会場に再発足第2回目の支部総会を開催しました。来賓として伊藤商学部長、商経同窓会から江頭会長、国武組織委員長をお迎えし、支部から崎山北九州支部長と大石副支部長、橋本山口県支部長の応援を戴き総勢16名で賑やかな会となりました。

冒頭、伊藤商学部長から創立90周年の記念式典の様子、久留米大学近未来への課題と挑戦について力強いお話があり、江頭会長からは100周年に

向け躍進する大学を商経同窓会も一層支えて行こうとその重要性を述べられました。懇親会は第4回卒で初代支部長を務められた安藤さんの乾杯で始まり、学生時代の部活の話、大学の変貌ぶり、他支部の取り組みの様子など和気あいあいとした雰囲気が進み、中締めは第14回卒業2代目支部長の高村さんが広島の地から後輩を久留米大学に送ろうと挨拶をされ会員は皆、広島支部の拡大と活性化を誓い合いました。



大分県支部

# 大分支部会開催

大分支部  
渡邊 浩一  
(昭和55年卒)



平成30年6月23日(土) トキハ会館にて

平成30年6月23日土曜日18時30分より、大分市府内町トキハ会館にて浅見経済学部長、江頭同窓会長、藤吉組織副委員長の3方をお迎えし、大分支部会を開催いたしました。

当日は工藤陽生君の司会のもと、まず、校歌斉唱に始まり池永支部長の開会挨拶、浅見経済学部長・江頭同窓会長の両名による来賓挨拶、藤吉組織副委員長の乾杯のご発声により開会いたしました。今回で3回目を迎え、和気藹々とした雰囲気の中、

思い出話や近況報告に盛り上がり、あっという間に2時間が経過、締めとして大分市議会議員の二宮博さん(商24回)の閉会挨拶によりお開きとなりました。

来年は6月29日(土)18:30より大分センチュリーホテルにて開催の予定です。同窓生全員にはご案内が出来ておりませんので、是非この会報を見て来年参加いただければと思います。また、今年秋にはゴルフ会も開催の予定です。

# 宮崎支部会開催

宮崎支部

宮崎支部  
丸田 昇次  
(昭和61年卒)



平成30年7月14日(土) 東天閣にて

平成30年7月14日(土曜日)午後6時半より「東天閣」にて第17回宮崎支部同窓会が行われました。今回も午前中はゴルフコンペ、夕方から懇親会と2部構成で行いました。大学から伊藤商学部長、同窓会から江頭会長、国武組織委員長、福岡支部より平川支部長、都城支部より松元支部長にお越しいただき総勢17名で盛大に開催されました。

二宮支部長の挨拶から始まり、大学近況報告等あり松元支部長にご乾杯の音頭をいただき懇親会が始まりました。今年は「久留米大学創立90周年」を祝う記念式典、祝賀会が久留米シティプラザで開催され関係者や同窓生を中心に600名の参加者で盛大に執り行われたことが報告されました。

宮崎支部同窓会として今回17回目になりました。昨年16回の参加者32名に比べたら半分近くの人数で近年では最も少ない参加者になりました。このごろは若手会員も恵まれず、同窓会としての活動もワンパターン化しているかもしれません。就職活動をサポートするために在学4年生と連携したり、いろんな情報発信する仕組みを作る必要があるのかもしれない。

最後に幸いにも宮崎にはこれといった被害もなかったのですが、西日本豪雨災害で災害にあわれた皆様には謹んでお悔やみ申し上げます。

# 「福久会」開催

福岡銀行支部

福岡銀行支部長  
園田 静児  
(平成4年卒)



平成30年7月20日(金) 福岡クラブ

福岡銀行はご存じのとおり、福岡県を中心に九州エリアで地域に根差した金融サービスの提供を行っており、我々卒業生も日々その中で奮闘しているところでございます。

我々福岡銀行支部は、現役行員74名で構成され、今年は4名の新入行員が加わるなど、行内でも有数の規模を誇っています。

今年も銀行施設である福岡クラブで、「福久会」を開催。退職間近の大先輩から若手行員までが膝を付き合わせ、酒を酌み交わし、学生時代の思い出話や身の上相談など、賑やかに開催することができました。

今後も職域支部の進行を図り、励ましたり支えたりできる関係を醸成していきます。

# 世界文化遺産 の島へ

佐世保支部

佐世保支部  
山内 一成  
(昭和52年卒)



佐世保市黒島地区公民館にて

平成30年6月30日、午後5時50分、中東バーレーンで開催されていた世界遺産委員会の議長がガベルを打ち、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録決定しました。私が住んでいる島は、12の構成資産の1つ「黒島の集落」ですが、世界遺産になるとは夢のような出来事です。平成19年、「長崎の教会群」が世界遺産登録暫定一覧表に記載されてから早11年の年月が流れ、この間、2度の挫折を乗り越え念願であった今回の登録で、世界に認められた島になりました。

佐世保市黒島町は、平成23年、五島・久賀島と同時に島全体が「重要文化的景観」に国の選定を受けている島でもあります。黒島は、九十九島最大の島で、佐世保市相浦港からフェリーで約50分、1日3便が運航しています。現在人口約430人、約8割がカトリック信徒で、先祖の多くは外海地方の潜伏キリシタンになります。島の中央にはフランス人宣教師「マルマン」神父の指導のもと、信徒の勤労奉仕で建設された「黒島天主堂」があり116年の歴史を刻んでいます。皆さん、世界遺産の島へ是非ご来島下さい。

お知らせ

## 全国支部長会

- 日時 平成30年12月1日(土) 15時より
- 場所 ハイネスホテル久留米
- ※詳細は、支部長宛郵便でご案内致します。



# 世代を超えて 親睦を深めよう!

筑邦銀行支部

筑邦銀行支部幹事  
星野 博文  
(平成3年卒)



平成30年6月22日(金) ハイネスホテル久留米にて

私たちは、母校の所在地である久留米市に本店を置く、筑邦銀行の職員で組織する職域支部です。毎年支部総会と新しい仲間の歓迎会を開催し、会員間の親睦を深めています。今年も3名の新たな仲間を迎え、会員数も80名を超える組織となりました。

今年と同窓会本部より、江頭会長、国武組織委

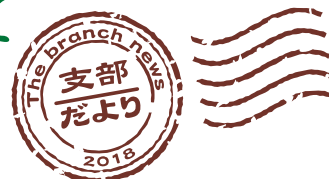
員長を来賓としてお招きしました。世代に関係なく、楽しい交流の時間を過ごすことができました。

久留米市に拠点を置く支部として、これからも久留米大学同窓会の発展、久留米市の活性化に尽力するとともに、近隣支部との交流を深め幅広い人脈形成を目指したいと思います。

# 久留米支部会準備に向かって

久留米支部

久留米支部長  
坂本 昭夫  
(昭和44年卒)



久留米支部では来る31年2月16日(土)ホテルニュープラザにおいて、2年おきの久留米支部総会、懇親会を開催します。支部幹事32名にて今年の9月より準備スタート、又打ち合わせも兼ね「ビールと料理を楽しむ会」を7月25日(土)上海夢飯店で開催し、大まかな方針を決めました。

会合を重ねながらアトラクション、目標人数、チ

ケット販売等、具体的内容を確認しながら進めています。今回も卒業回期の若い方、他学部卒のOB、OGの方々の参加を願っています。

青春時代を過ごした仲間同士、学部を越えた先輩後輩の交流、新たな出会いの一日にしましょう。幹事一同、多数のご参加を心よりお待ちしております。問合せ:高浪孝一 TEL.0942-35-7780

## 平成30年度支部会開催予定

支 部	開 催 日	場 所	支 部 長
福岡	平成30年10月6日(土)	西鉄イン福岡	平川猛展
長崎	平成30年10月13日(土)	ホテルニュー長崎 桃林	荒木 巧
嘉飯	平成30年10月27日(土)	パドドウ・ル・コトブキ	坂口栄喜
関西	平成30年10月28日(日)	ヴィアーレ大阪	柴田正昭
東京	平成30年11月10日(土)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	鬼山 力
都城	平成31年1月予定	未定	松元敏行
山口県	平成31年1月26日(土)	未定	橋本良一
久留米	平成31年2月16日(土)	ホテルニュープラザ久留米	坂本昭夫
北九州	平成31年2月23日(土)	リーガロイヤルホテル小倉	崎山和夫
佐賀県	平成31年3月9日(土)	グランデはかくれ	大尾正博
鳥栖・三養基	平成31年3月10日(日)	光林飯店	藤吉嘉明

## ～私の近況～

### 私の近況

# 今の自分は 音楽が創ってくれた

天野 浩(平成21年卒)



在学当時は器楽部に所属しており、バンド活動に打ち込んでいました。それまで引込み思案だった私がギターを持ち、マイクを持ちステージに立ち続けた経験は、随分と度胸もつき、今の仕事にも活かされています。卒業後に会社員となると、音楽活動に対する未練は持ちつつも、中々多忙なことと、一緒に活動できる仲間が集まらなかったりして、楽器に触る機会もめっきり減ってしまいました。その点からも在学当時はいかに恵まれた環境にいた事かと想いを馳せます。

会社員を経て、とあるご縁から衆議院議員の秘

書を経験し、現在は福岡市議会議員を務めさせていただいております。社会が少しでも良くなるよう、日々慌ただしく過ごしていますが、大学時代に打ち込んだ部活や勉強が今の私を創っているとも感じます。母校の今後益々の発展を祈念しながら、卒業生として恥じない議員活動を行っていききたいなど、想い致すところです。

### 私の近況

# 地域創生への貢献

山本 湖由希(平成25年卒)



左：山本さん

平成25年に経済学部を卒業し、銀行員として働き始めて6年目となりました。現在は筑邦銀行日田支店で為替係と窓口での営業を担当しております。

昨年は九州北部豪雨で私の地元である日田も大きな被害を受け、今年の西日本豪雨では当行本支店のある久留米や北九州などもたくさんの被害を受けました。被害を受けた地区の方は電話や訪問で状況の確認をしたり、土日でも窓口を開けて被災された方々の手続きが出来る体制を作ったりと地方の金融機関として地域の方々に寄り添った支援を

してきました。

銀行での仕事は思っていたよりとても大変ですが、お客様にとって良い金融サービスの提案が出来たり、お客様から私に担当してほしいと指名されたりすると、この仕事をやっていて良かったとやりがいを感じることも多くあります。

また、大学時代の4年間で出来た仲間たちとは今でも交流があり、休日に一緒に旅行に行ったり、時には仕事へのモチベーションを高めあったりと私の一生の財産となっています。



## 私の近況

## 勉強する日々

松延 康平(平成26年卒)



平成26年に経済学部を卒業してから4年が経ちました。大学時代では、駄田井 正教授・原田 康平教授とともに学生企業、有限会社メディアウェーブを運営したことが現在の自分を作っています。現在は学生企業としては解散しましたが、両教授の存続依頼があり、定款変更をして営業を始めました。この企業は日本国内でも前例のない法務局での解散登記完了後再出発したものです。

その後、マルセン工業(株)に入社して5年目、会社

役員となり水道・ガス等の生活にかかわる事業や、ビルメンテナンス事業をしており、たくさんの人とふれあっております。多くの資格やお客様のふれあい方、緊急時の対応などたくさんのことを日々学んでおります。1つのことができるようになると次へ次へとステップアップしている様で仕事をしているなあと実感が湧きます。まだまだ勉強することがたくさんあると思いますが、地元久留米で頑張ります!

## 水泳部OB会

OB会KUSチーム監督 後藤 正(昭和34年卒)



OB会も物故者や病床に伏しておられる方々が毎年増え、OB会便りの投稿も今回が最後の投稿になるかも知れません。OB会総会への欠席者も病気等の欠席者2名と集合写真は毎年の半数近くと激減しております。

その中で我がOB会「KUS」チームは相変わらずの大健闘を続けております。まず、KUSチームの日本マスターズ水泳協会の発表では、昨年(2017年)全国50傑ランキングで男子クラブチーム4×25Mフリーリレー(320才以上)で全国ベスト第3位、又4×25Mメドレーリレーは8位にランキングされ、久留米大学水泳部OB会「KUS」チームは全国マスターズ水泳で大健闘でした。今年もすでに5月の福岡大会では1.野村光幸(商4回)2種目に入賞2位、3位、2.小林民治(OB会会長商5回)1種目に入賞2位、3.野瀬善彦(商6回)2種目に入賞、優勝、4.野田清(商9回)1種目に入賞2位、5.リレーは残念ながら2位入賞でした。7月熊本、9月福岡大会は記録が会報のメ切に間に合わず、最後の4名のメンバーで好成績が期待出来るものと思います。ご愛読ありがとうございました。

## ボクシング部OB会

監督・OB会事務局長 笛田 靖彦(平成元年卒)



平成30年7月14日(土) ハイネスホテル久留米にて

平成30年7月14日(土)12時よりハイネスホテル久留米にて第13回久留米大学ボクシング部OB会を開催致しました。医・商・経・法・文等の1回卒から63回卒迄が母校久留米大学への親和・団結力を固持するかのようには和気あいあいと時間が経つのも忘れ、学生時代の思い出等楽しいひと時を過ごされました。このOB会には、医1回卒楠原正一氏 楠原皮膚科医院(前医学部連合同窓会長)、商1回卒柏木武美氏(株)柏木興産(元行橋市長)、商4回卒田中禮次郎氏音楽プロデューサー(元キングレコードディレクター)、同期の瓊田千之氏真宗栄恩寺住職(ボクシング部OB会長)、商11回卒宮原岩政氏前久留米大学常務理事(元全国都道府県議会議長)をはじめ総勢18名の出席者のもと、盛大に開催されました。会の最後に久留米大学校歌を合唱し、来年の再会を誓い合いました。

今回欠席:医2回卒中山和道氏(久留米大学名誉教授)、医4回卒業師寺道明氏(久留米大学名誉学長)

# 新聞部OB会



上床 一幸(昭和39年卒)

平成30年6月13日～14日嬉野の旅館で新聞部としては初の集いを開催しました。実に50余年ぶりですがメンバーの多くは井上ゼミ会の会員で何回となく集い、気の置けない仲間たちです。

部活動の期間は昭和33年(5回生)から昭和42年(14回生)の約10年余でしたが、そこには新聞編集にあたり濃密な苦悩が詰まっていた。発行日に間に合わないと言っては木造長屋の狭い部室の長椅子に古新聞を布団代わりに徹夜し、渦巻きコンロでインスタントラーメンを突っつき合ったり、街中に新聞広告取りに汗を流したり枚挙に遑がありません。

当時は歴史に残る安保(反対)闘争、それに呼応した学生運動(全学連)など不穏時代が続き学業どころではない状況が思い出されます。

ある教授に新聞記事をお願いしたところ、あまりにも過激なコメントを頂きボツにさせていただいたこともありました。一方芝生にたむろしている学生たちに、当時の社会情勢をインタビューして何の関心もないノンポリぶりにも驚かされました。

その後、学生運動が益々激化し、新聞部は過激セクトの狙い撃ちにあい解散を余儀なくされた次第です。体制迎合の広報紙(会報)ではなく、自主性を重んじたちよっぴり辛口の学生主体、学生主役の機関紙が無くなったことは寂しい限りです。



## 春秋の恒例の第14回

### 県南・久留米・八女支部合同の懇親会ゴルフ結果報告

国武 勝征(昭和42年卒)



平成30年4月23日(月)の標記のゴルフコンペを15名の参加者で八女上陽ゴルフ倶楽部で執り行いました。当日は曇りで爽やかな日和の日でした。

優勝は県南支部の福山泰幸氏(商13回生) gross 85、準優勝は久留米支部の青木敏浩氏(商15回生)、3位が新人の県南支部の北島一成氏(商28回生)でした。青木氏はゴルフ主催(月曜会69名参加者)の3位にも入賞されました。次回は11月26日(月)の予定です。

## 東京支部第21回

### ゴルフ同好会コンペ開催報告

山浦 秀憲(昭和48年卒)



第21回東京支部ゴルフ同好会のコンペは会員9名の参加により平成30年4月10日(火)埼玉県のアドニス小川カントリー倶楽部で開催いたしました。山口和幸氏(商18回卒)が見事優勝されました。当日は好天に恵まれ絶好のゴルフ日和となった中、会員の好プレー・珍プレーの連続に競技は大いに盛り上がりました。秋の第22回大会は平成30年10月17日(水)を予定しており、多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

## 第64回

### 久留米OB会ゴルフ開催(福岡支部)

朝久 岩生(昭和48年卒)



平成30年5月24日(木)福岡支部主催のゴルフコンペを福岡国際カントリークラブ七又コースで行いました。今回も参加者19名で5月の好天にも恵まれ、プレーを楽しむことができました。

競技は新ペリア計算方式で行い優勝は商12回生の神村幸彦氏、準優勝は商20回生の東島壽夫氏でした。



## 入 試 日 程

## 文系学部(文学部、人間健康学部、法学部、経済学部、商学部)

入試区分	募集学部・学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学時納入金の納入および入学手続書類提出締切日(必着)	
総合型選抜 (AO入試)	文学部、人間健康学部(総合子ども学科)、 法学部、経済学部、商学部	—	一次	—	—	—	11月27日(火)
			二次	—	—	10月17日(水)	
指定校推薦入試	文学部、人間健康学部(総合子ども学科)、 法学部、経済学部、商学部	11月1日(木) ▼ 11月7日(水)	11月17日(土)	—	11月26日(月)	12月20日(木)	
一般推薦入試	文学部、人間健康学部、 法学部、経済学部、商学部	—					
スポーツ 特別推薦入試	人間健康学部(スポーツ医科学科)	—	一次	10月6日(土)	10月17日(水)	11月26日(月)	
			二次	11月17日(土)			
前期入試	文学部、人間健康学部(総合子ども学科)	1月4日(金) ▼ 1月16日(水)	2月7日(木)	【2月7日、2月8日】 本学(御井)、 北九州、長崎、 鹿児島 【2月1日、2月10日】 本学(御井)、 広島(2月10日のみ) 山口、北九州、福岡、 佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、 沖縄(2月10日のみ)	2月20日(水)	入学申込締切2月28日(木) 入学手続締切3月22日(金)	
	人間健康学部(スポーツ医科学科)、 法学部、経済学部、商学部		2月8日(金)				
	文学部、人間健康学部、 法学部、経済学部、商学部		2月1日(金) 2月10日(日)				
センタープラス 入試	文学部、人間健康学部、法学部、 経済学部、商学部	1月4日(金) ▼ 1月16日(水)	大学入試 センター試験 1月19日(土) 1月20日(日)	—	3月15日(金)	3月22日(金)	
大学入試 センター 試験利用 入試	A 日程 文学部、人間健康学部、 法学部、経済学部、商学部 B 日程	1月4日(金) ▼ 1月28日(月) 2月20日(水) ▼ 3月7日(木)					
後期入試	文学部、人間健康学部、 法学部、経済学部、商学部	2月20日(水) ▼ 2月28日(木)	3月9日(土)	—	11月26日(月)に 通知する	入学申込締切12月20日(木) 入学手続締切 1月24日(木)	
社会人入試 帰国子女入試	文学部、人間健康学部、 法学部、経済学部、商学部	11月1日(木) ▼ 11月7日(水)	11月17日(土)				
留学生 入試	文学部、人間健康学部(総合子ども学科)、 法学部、経済学部、商学部	12月3日(月) ▼ 12月10日(月)	2月6日(水)	本学(御井)	2月20日(水)に 通知する	入学申込締切 2月28日(木) 入学手続締切 3月22日(金)	
		2月20日(水) ▼ 2月28日(木)	3月9日(土)		3月15日(金)に 通知する	3月22日(金)	
編入学 試験	文学部、法学部、経済学部、商学部	—	10月6日(土)	—	10月17日(水)に 通知する	入学申込締切11月 1日(木) 入学手続締切12月20日(木)	
	学部、経済学部、商学部	2月20日(水) ▼ 2月28日(木)	3月9日(土)		3月15日(金)に 通知する	3月22日(金)	
専攻科入試	文学専門科、法学専門科、 経済学専門科、商学専門科	2月20日(水) ▼ 2月28日(木)	3月9日(土)	—	3月15日(金)に 通知する	—	

## 医学部(医学科、看護学科)

入試区分	募集学部・学科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学時納入金の納入および入学手続書類提出締切日(必着)
地域枠推薦入試	医学部(医学科)	11月1日(木) ▼ 11月7日(水)	11月17日(土)	本学(旭町)	11月26日(月)	12月20日(木)
一般推薦入試	医学部(医学科、看護学科)	—				
前期入試・ 福岡県特別枠入試	医学部(医学科)	12月17日(月) ▼ 1月16日(水)	一次 2月1日(金) 二次 2月13日(水)	本学(御井)、東京 本学(御井)	2月7日(木) 2月20日(水)	入学申込締切 2月28日(木) 入学手続締切 3月22日(金)
前期入試	—	—	2月5日(火)	本学(御井)、熊本、 大分、鹿児島	2月20日(水)	
センタープラス入試	医学部(看護学科)	12月17日(月) ▼ 1月28日(月) 2月20日(水) ▼ 3月7日(木)	大学入試 センター試験 1月19日(土) 1月20日(日)	—	3月15日(金)	3月22日(金)
大学入試 センター 試験利用 入試						
後期入試	医学部(医学科)	2月8日(金) ▼ 2月27日(水)	一次 3月8日(金) 二次 3月16日(土)	本学(御井) 本学(旭町)	3月12日(火) 3月19日(火)	3月26日(火)

※入学申込締切=入学金の納入および入学手続書類の提出 入学手続締切=入学時納入金から入学金を差引いた金額の納入および入学手続書類の提出  
申込締切と手続締切が分かれていない入試区分は一括納入となります。

※編入学試験には、法学部の「編入学試験(社会人・学入学)」も含まれます。

※入試に関する問い合わせ先: 久留米大学入試課 TEL.0942-44-2160 FAX.0942-43-4539

nyushi@kurume-u.ac.jp

入試情報サイト

<http://www.kurume-u.ac.jp/site/nyuushi/>

# 久留米大学創立90周年記念事業募金へ ご協力をお願いします



商経同窓会では、久留米大学創立90周年記念事業募金に1000万円を寄付しました。すでに多くの会員の皆様からもご協力いただいておりますが、募金目標額10億円に向けて平成31年3月31日まで募集されています。引き続きご協力下さい。詳細は創立90周年記念特設サイト (<http://www.kurume-u.ac.jp/site/90th/>) でご確認いただけます。

お問い合わせ先：久留米大学基金推進室 TEL0942-31-7530  
もしくは商経同窓会 TEL0942-44-2432 FAX0942-44-3846 syoukei@ktarn.or.jp

## 会費納入のお願い

終身会費 15,000円(1回限り)

年会費 3,000円(年1回)

※どちらかお選びの上、郵便局からお支払い下さい。

卒業生も約30,000名の陣容となり会報にもかなりの費用を要します。このところを十分にご理解いただき、会費を納入くださいますようお願いいたします。なお、お振込みの際は同封の払込用紙(一般会員の方のみ同封)をご利用下さい。住所、氏名、電話番号のみでは確認できない場合がありますので、おわかりの範囲で卒業(年、学部学科)、学籍番号、会員番号、所属支部、勤務先をご記入下さい。

## 住所連絡のお願い

住所等お変わりの方はお忘れなく同窓会本部までお知らせください。電話、ファックス、メールをご利用ください。

TEL 0942-44-2432 FAX 0942-44-3846

URL <http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>

メールアドレス syoukei@ktarn.or.jp

## 編集後記

●昨年に続き、7月豪雨で、特に久留米市東部を中心に浸水被害があり、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

●今年度より会報は10月1日発行に変わりました。

(広報委員長 原口彰)



発行所 久留米大学商経同窓会

〒839-8502 久留米市御井町1635

責任者 同窓会会長 江頭 義人

編集人 広報委員長 原口 彰

TEL.0942-44-2432

FAX.0942-44-3846

E-mail syoukei@ktarn.or.jp

<http://www2.ktarn.or.jp/~syoukei/>

